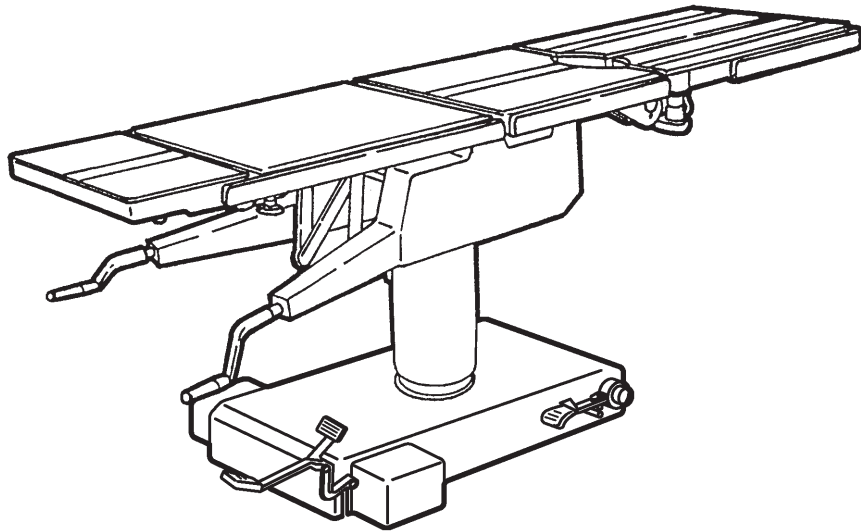




## 手術台取扱説明書

# SPL-331

製造販売届出番号：13B1X00306N00028



⚠ 手術台は手術を目的として製作されています。手術以外の目的で使用すると、手術台が損傷したり、転倒して重大な事故を起こす恐れがあります。手術台の操作や保守を担当する者は、手術台の操作・点検を行う前に本書を読んで理解してください。

- 本書は、手術台を取り扱う全ての人が、必要なときにいつでも読むことができる状態で保管してください。
- 本書の説明を完全に理解したうえで、当手術台を使用してください。

## 使用上の注意事項

1-1 はじめに	2
1-2 絵表示について	2
1-3 安全に使用するための注意	3
用途と異なる目的での使用	3
使用中の取扱い	3
他の機器との併用についての取扱い	4
故障時の取扱い	4

# 1. 使用上の注意事項

## 1-1 はじめに

- この取扱説明書は手術台を安全に正しく使用していただくためのものです。  
この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用いただきますようお願いいたします。  
なお、製品または取扱説明書の内容についてご質問等がございましたら、お買いあげの販売店または弊社販売窓口までご遠慮なくお問い合わせください。
- 取扱説明書を紛失または損傷した場合は、お買いあげの販売店または弊社販売窓口までお問い合わせください。
- 手術台を譲渡されるときは、つぎの所有者に、必ず取扱説明書を添付し譲渡してください。

## 1-2 絵表示について

この取扱説明書の表示では、手術台を安全に正しくお使いいただき、お客様や患者への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

**補 足**

この表示は、製品の機能について補足事項を示しています。

## 1-3 安全に使用するための注意



## 用途と異なる目的での使用

- 手術台を踏み台など、用途と異なる目的で使用しないでください。  
転倒・損傷・怪我の恐れがあります。

## 使用中の取扱い

- 背板と腰板のすき間に手を入れないでください。  
屈折時に怪我をする恐れがあります。
- ハンドルを回転中、頭部板の端に手をぶつけないでください。  
怪我をする恐れがあります。
- サイドフレームと腰板のすき間に手を入れないでください。  
屈折時に怪我をする恐れがあります。
- ハンドルを回転中、頭部板の端に手をぶつけないでください。  
怪我をする恐れがあります。
- 取外した頭部板を元の位置に戻したあとは、必ず固定ハンドルを締めてください。  
ゆるんだ状態で使用すると、頭部板が落下する恐れがあります。
- 頭部板の上には座らないでください。  
転倒・損傷・怪我の恐れがあります。
- 展開した状態での使用または取外した脚板を元の位置に戻すときは、必ず固定ハンドルを締めてください。  
ゆるんだ状態で使用すると、脚板が落下する恐れがあります。
- 脚板の上には座らないでください。  
転倒・損傷・怪我の恐れがあります。
- 必ずテーブル固定ハンドルを締めてください。
- テーブルトップに患者を乗せたまま回転しないでください。  
転倒する恐れがあります。
- 180度以外（45度・90度など）では使用しないでください。  
転倒・怪我の恐れがあります。

## 注意

- 脚板を 90 度下げた状態で回転しないでください。  
昇降ペダルに接触して破損する恐れがあります。

## 警告

### 他の機器との併用についての取扱い

- 併用する他の機器に添付されている取扱説明書を熟読して、注意事項を遵守して正しくお使いください。

### 故障時の取扱い

- 手術台は分解しないでください。

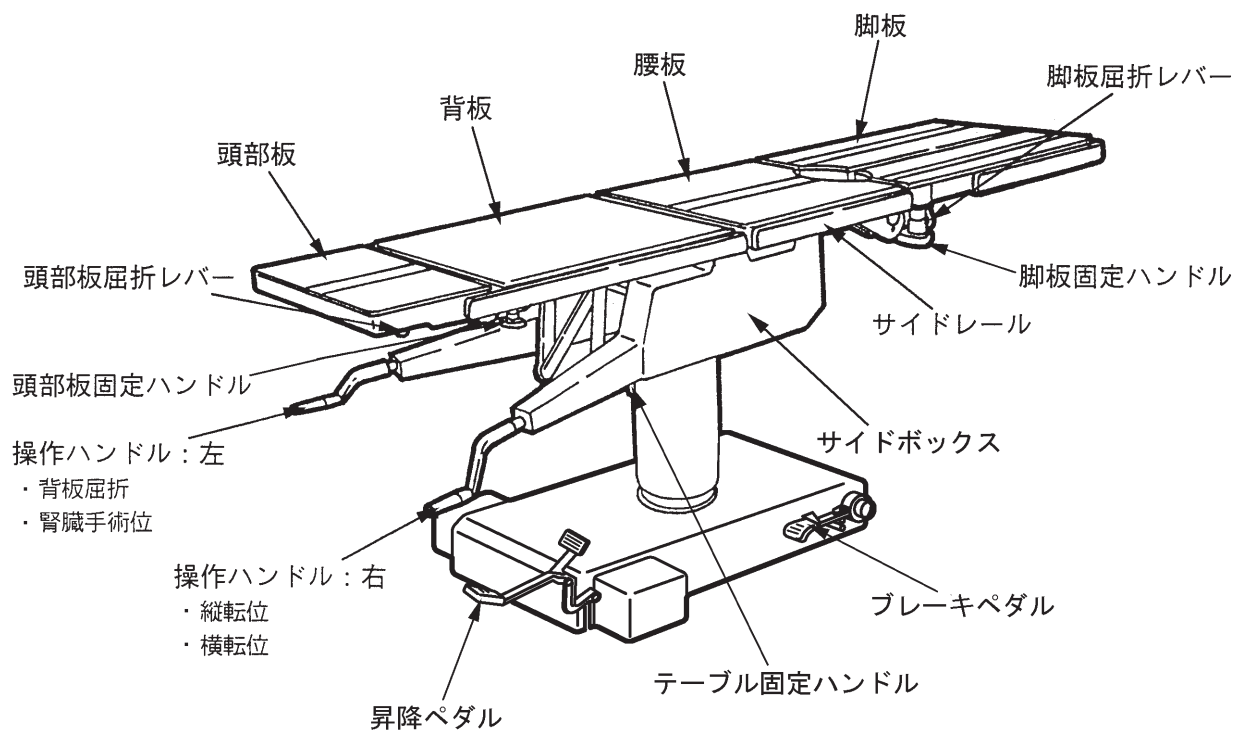
## 第2章

# 構成

2-1 各部の名称	2
-----------	---

## 2. 構成

### 2-1 各部の名称



## 操作方法

3-1 ブレーキ	8
固定	8
解除	8
3-2 昇降ペダルによるポジション	9
昇降	9
3-3 操作ハンドルによるポジション	10
縦転	10
横転	10
背板屈折	11
腎臓手術位	12
3-4 頭部板	13
屈折	13
取外し	13
3-5 脚板	14
屈折	14
展開	14
取外し	14
3-6 テーブルトップの回転	16

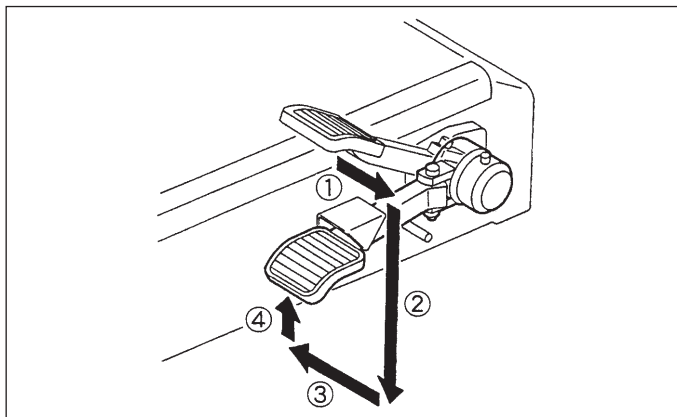


## 3. 操作方法

### 3-1 ブレーキ

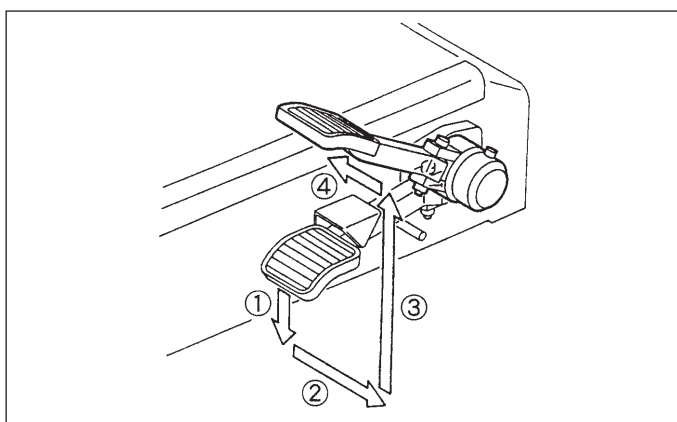
#### 固定

ブレーキペダルを押してペダル掛に引っ掛けます。



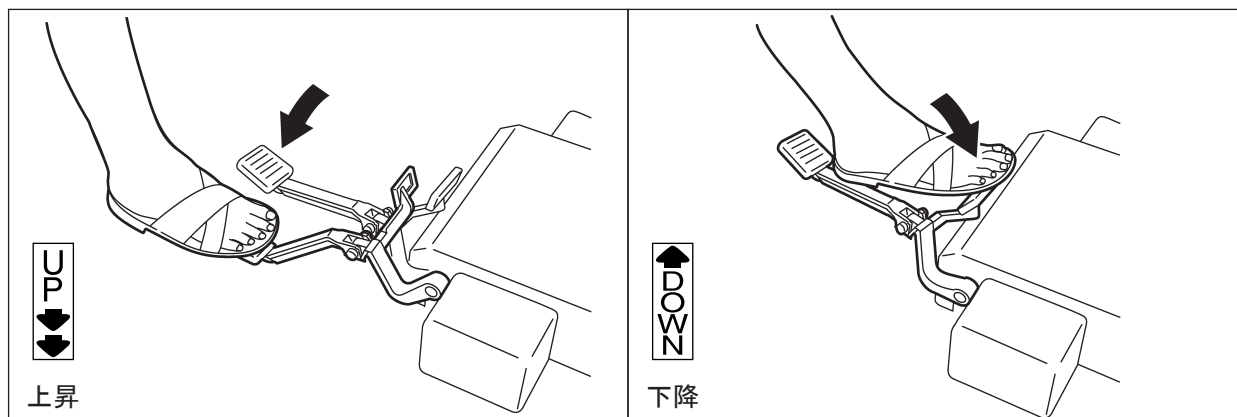
#### 解除

ブレーキペダルを押して外側にずらします。



### 3-2 昇降ペダルによるポジション

#### 昇 降



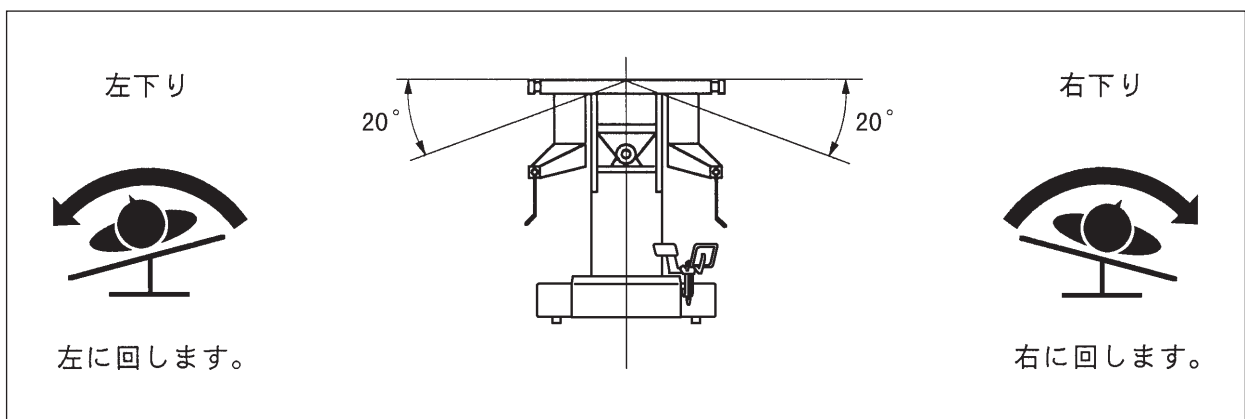
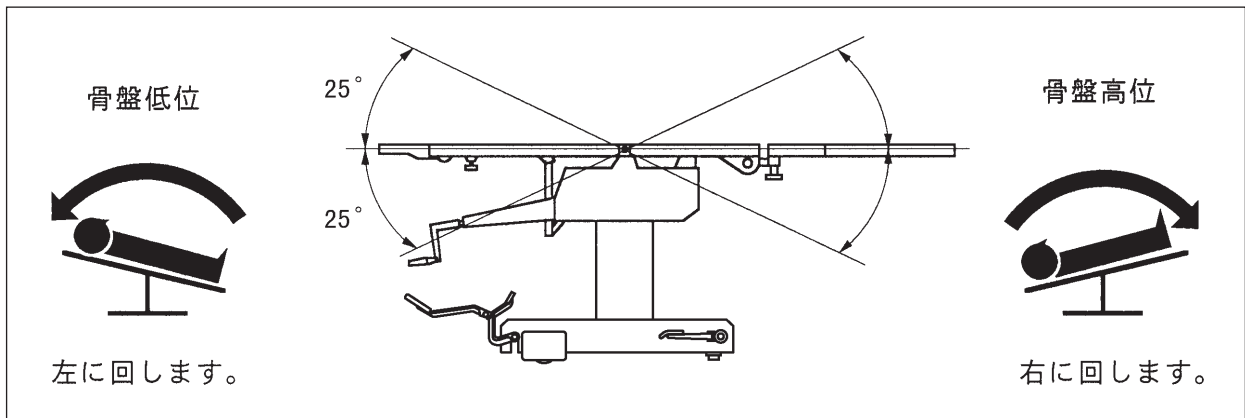
#### 補 足

- ペダルを踏む動作を中断すると昇降が停止します。


## 3-3 操作ハンドルによるポジション

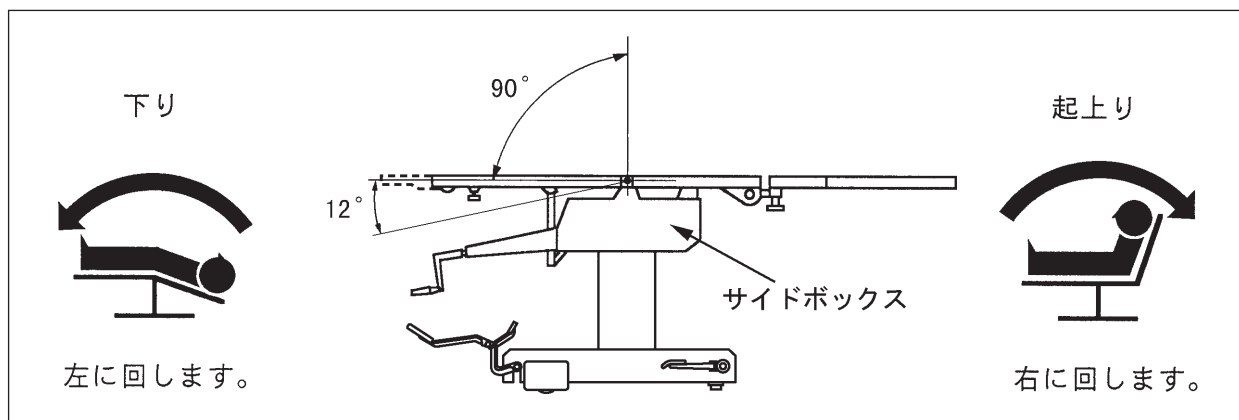
## ⚠ 注意

- 操作ハンドルを回転してハンドルが動かなくなったとき（ポジションが限界に達した）は、操作を止めてください。  
無理に回転させると破損する恐れがあります。



横転の左右は頭部板正面が基準です。

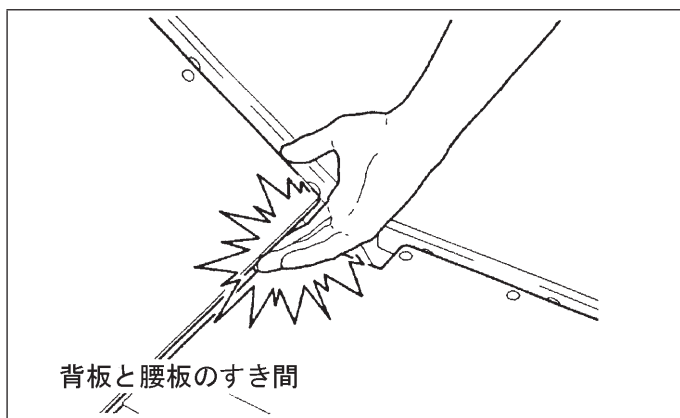
背板屈折 



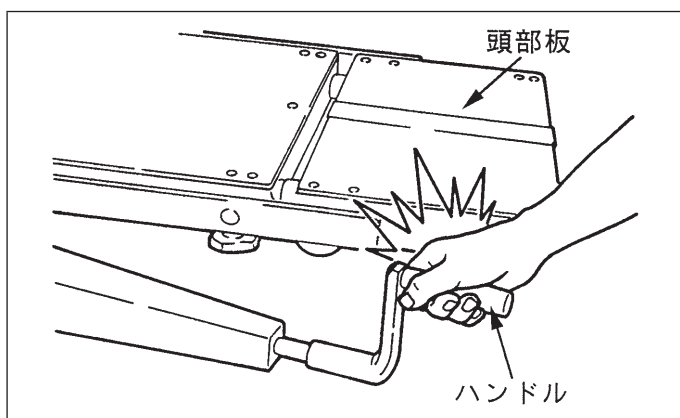
下り最大角度はサイドボックスを水平にして、頭部板を外した状態です。

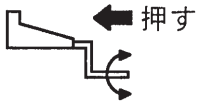
## 警告

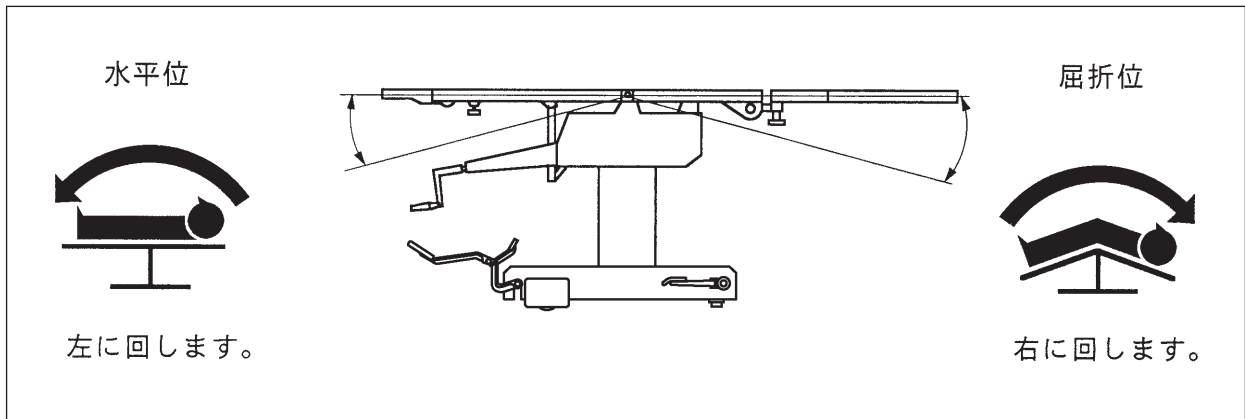
- 背板と腰板のすき間に手を入れないでください。  
屈折時に怪我をする恐れがあります。



- ハンドルを回転中、頭部板の端に手をぶつけないでください。  
怪我をする恐れがあります。

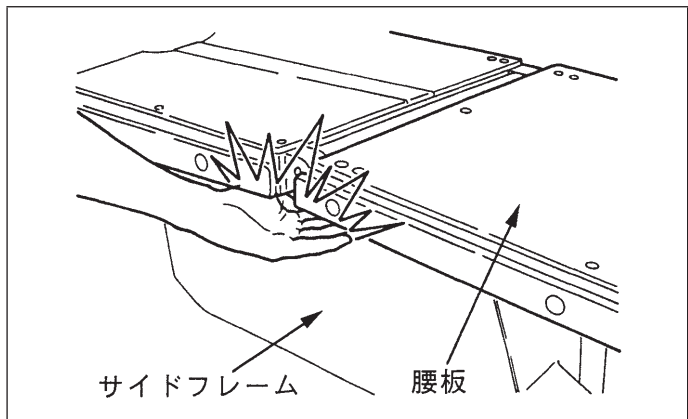


腎臓手術位  押す

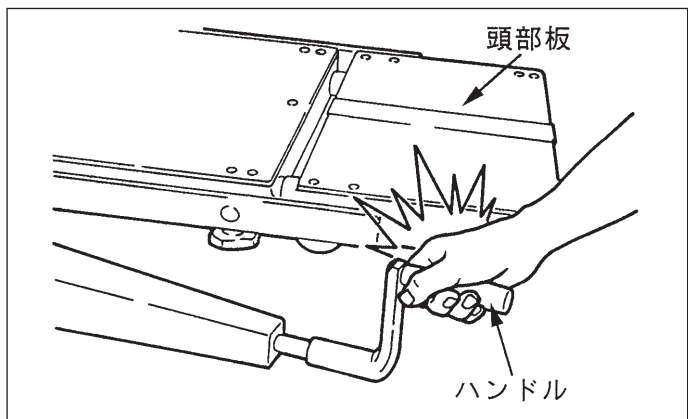


## 警告

- サイドフレームと腰板のすき間に手を入れないでください。  
屈折時に怪我をする恐れがあります。



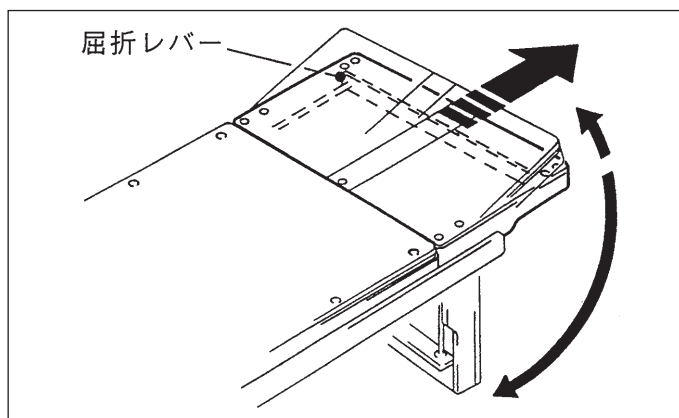
- ハンドルを回転中、頭部板の端に手をぶつけないでください。  
怪我をする恐れがあります。



### 3-4 頭部板

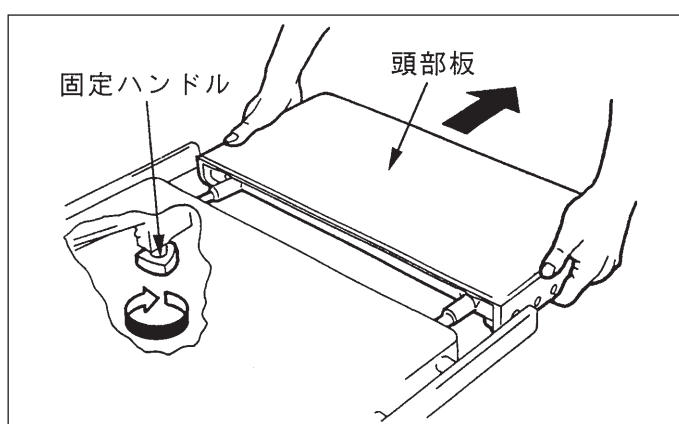
#### 屈折

1. 屈折レバーを手前に引きます。
2. 上に1段、下に6段屈折します。



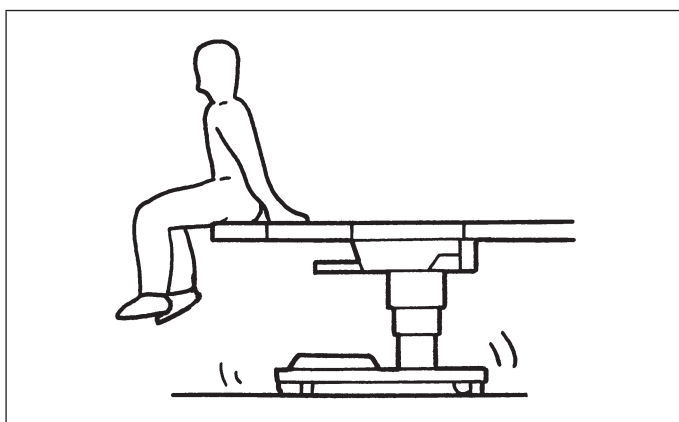
#### 取外し

1. 左右の固定ハンドルをゆるめます。
2. 頭部板の両端を持って手前に引きます。



## ⚠ 警告

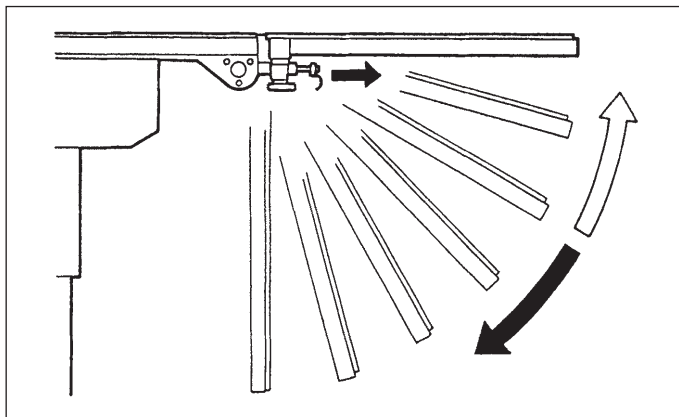
- 取外した頭部板を元の位置に戻したあとは、必ず固定ハンドルを締めてください。ゆるんだ状態で使用すると、頭部板が落下する恐れがあります。
- 頭部板の上には座らないでください。転倒・損傷・怪我の恐れがあります。



### 3-5 脚板

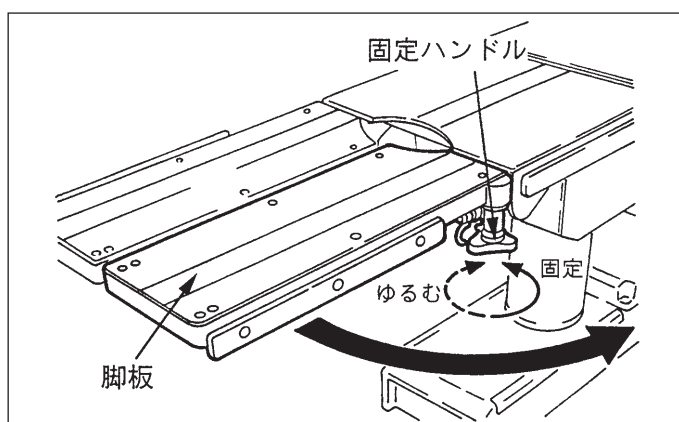
#### 屈折

1. 屈折レバーを手前に引きます。  
下に6段屈折します。
2. 水平に戻すときは先端を持って  
引き上げます。



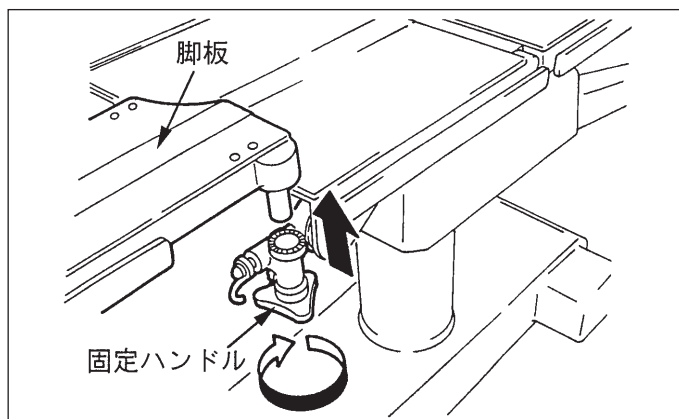
#### 展開

1. 固定ハンドルを1回転ゆるめます。
2. 脚板の外側に引きます。
3. 希望のポジションで固定ハンドルを締めます。



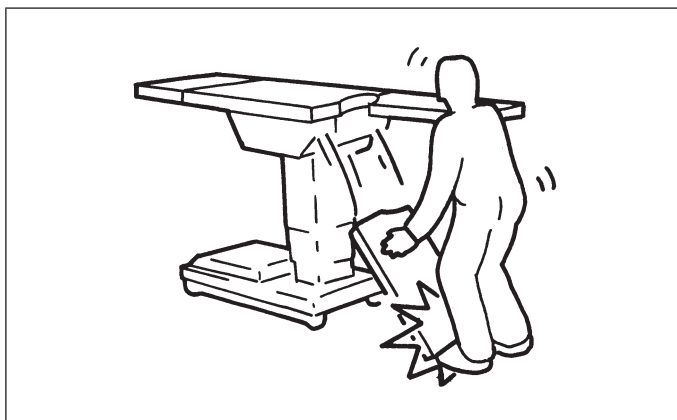
#### 取外し

1. 脚板を持って、固定ハンドルを  
5回転ゆるめます。
2. 脚板を両手で持って引き上げま  
す。

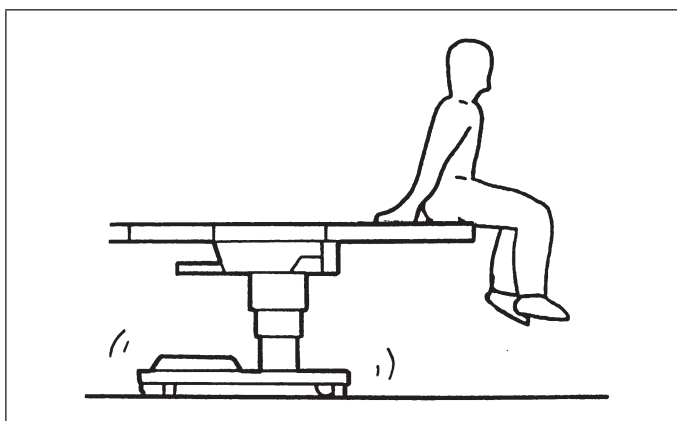


## ⚠ 警告

- 展開した状態での使用または取外した脚板を元の位置に戻すときは、必ず固定ハンドルを締めてください。ゆるんだ状態で使用すると、脚板が落下する恐れがあります。

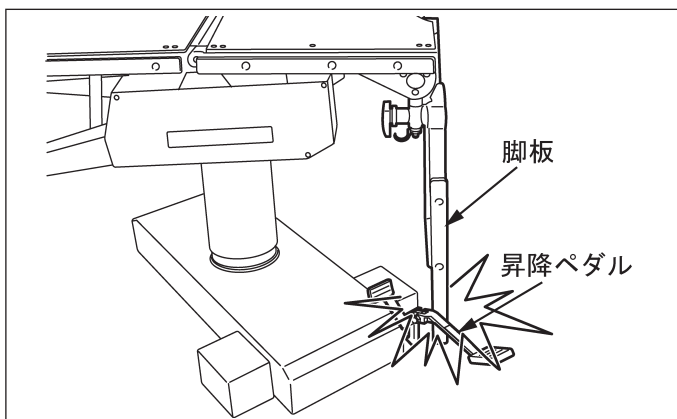


- 脚板の上には座らないでください。転倒・損傷・怪我の恐れがあります。



## ⚠ 注意

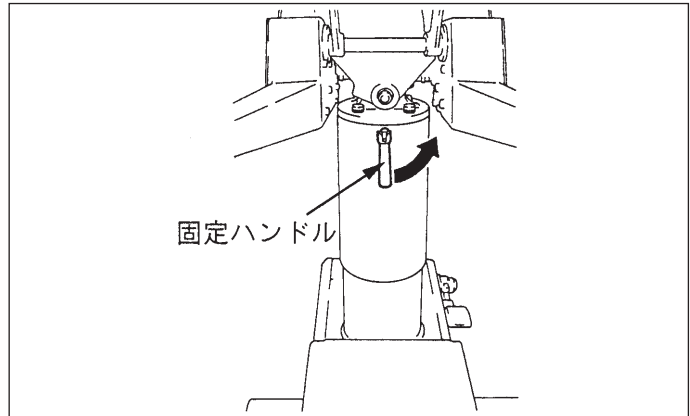
- 脚板を90度下げた状態で回転しないでください。(☞ 16 ページ) 昇降ペダルに接触して破損する恐れがあります。



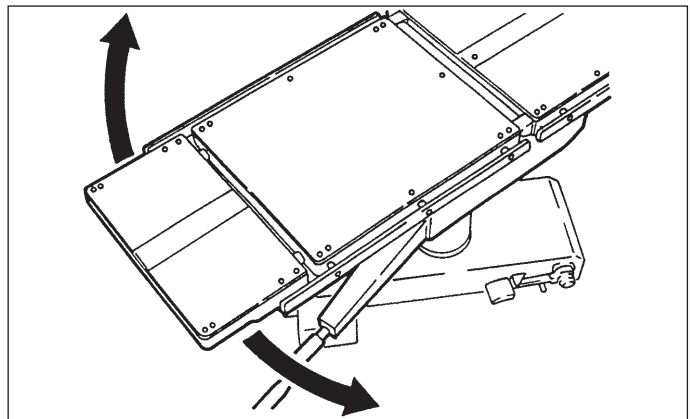


### 3-6 テーブルトップの回転

1. 固定ハンドルを矢印の方向にゆるめます。



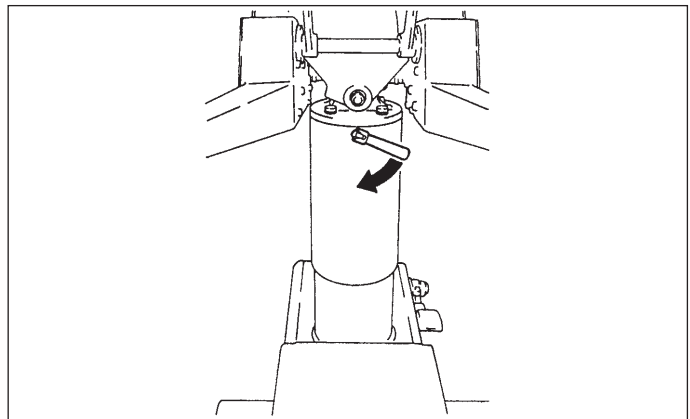
2. 頭部板を持ってテーブルトップを180度回転します。



#### 補足

- テーブルトップは左右両方向に回転します。

3. 回転完了後、固定ハンドルを締めます。



## 警告

- 必ずテーブル固定ハンドルを締めてください。
- テーブルトップに患者を乗せたまま回転しないでください。  
転倒する恐れがあります。
- 180度以外（45度・90度など）では使用しないでください。  
転倒・怪我の恐れがあります。

## 第4章

# 保守と点検

4-1 清浄・消毒	18
4-2 保証について	18

## 4. 保守と点検

### 4-1 清浄・消毒

使用する消毒剤の表示または説明書の内容を確認する。

### 4-2 保証について

本製品は下記の保証修理規定に従って修理いたします。

#### <保証修理規定>

1. 保証期間は納品 / 設置日から一年間です。保証期間内に添付文書・取扱説明書・貼付ラベル等の注意書に従ったご使用で故障した場合には無償修理をさせていただきます。
2. 修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所にお申しつけください。お申しつけに当たっては以下の内容をご連絡下さい。
  - (ア) 型名
  - (イ) 製造番号 (製品のラベルをご確認下さい)
  - (ウ) 故障の状態
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - (イ) お買い上げ後の設置場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害 (硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) などによる故障及び損傷。
  - (エ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (オ) 消耗製品が自然劣化し消耗部品を取り替える場合。
  - (カ) 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。
4. 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問合せ下さい。
5. 本規定は日本国内においてのみ有効です。

以上

# 第5章

## 仕 様

5-1 仕様表	20
---------	----

## 5. 仕 様

### 5-1 仕様表

分 類	販売名	SPL-331 手術台	
	製造販売届出番号	13B1X00306N00028	
	類 別	機械器具 (01) 手術台及び治療台	
	一般的名称・JMDN コード	汎用手動式手術台 36867010	
	クラス分類	一般医療機器 特定保守管理医療機器	
作 動 範 囲	昇降範囲	最高位	1010 mm
		最低位	770 mm
	縦転角度	骨盤高位	25°
		骨盤低位	25°
	横転角度	左下がり	20°
		右下がり	20°
	背板屈折角度	上がり	90°
		下がり	12° : 注 1
	腎臓手術位	水平位/屈折位	
	頭部板屈折角度	上がり	15°
		下がり	90°
	脚板屈折角度	下がり	90°
		展開角度	90°
テーブルトップ回転	360° (左右各 180°)		
取外し	頭部板/脚板 (左右)		
外 寸 ・ 重 量	テーブルトップ寸法	1930 mm (長) × 500 mm (幅) : 注 2	
	コラム寸法	800 mm (長) × 310 mm (幅) : 注 3	
	重 量	161 kg	
備 考	注 1) サイドボックスを水平にして、頭部板を外した状態 注 2) サイドレール部を除く 注 3) ローラーケース部を除く		

# ミズホ株式会社

■ 本 社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3 丁目 30 番 13 号  
<http://www.mizuho.co.jp>

- 手術機器事業部  
TEL 03 (3815) 3097 FAX 03 (3813) 5068
- 整形・脳神経外科事業部  
TEL 03 (3815) 3096 FAX 03 (3813) 5068
- 特販事業部  
TEL 03 (4334) 9111 FAX 03 (3815) 3185

---

## ■ 各営業拠点

- 北海道センター  
〒 060-0807 札幌市北区北 7 条西 2 丁目 6 番地 37 山京ビル 2F  
TEL 011 (716) 4731 FAX 011 (716) 4803
- 東北センター  
〒 980-0014 仙台市青葉区本町 1 丁目 11 番 2 号 SK 仙台ビル 2F  
TEL 022 (227) 1688 FAX 022 (227) 1698
- 新潟センター  
〒 951-8062 新潟市中央区西堀前通 1 番町 702 番地 西堀 1 番町ビル 6F  
TEL 025 (229) 5458 FAX 025 (222) 4684
- 東海センター  
〒 464-0075 名古屋市中種区内山 3 丁目 17 番 4 号 スズシン第 2 ビル 3F  
TEL 052 (732) 7130 FAX 052 (732) 7131
- 関西センター  
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1 丁目 10 番 24 号 三共本町ビル 7F  
TEL 06 (6444) 3840 FAX 06 (6444) 3860
- 中国センター  
〒 730-0045 広島市中区鶴見町 3 番 19 号 板倉ビル 4F  
TEL 082 (241) 8826 FAX 082 (241) 8836
- 九州センター  
〒 812-0013 福岡市博多区博多駅東 3 丁目 1 番 1 号 ノーリツビル福岡 5F  
TEL 092 (431) 5022 FAX 092 (474) 4483